

令和5年度 研究テーマについて

支援研究部

【研究テーマ】

『令和なんばのニュースタンダード ～ICTをもっと身近に、もっと便利に～』

【目的】

- ・近年のICT機器の発展と普及、それに伴う社会情勢の変化に対応した専門性の獲得を図る。
- ・ICT機器を有効に活用した授業実践の充実をすすめ、児童生徒の豊かな学びにつなげる。
- ・研究の対象は授業場面のみ限定せず、業務全般の効率化をすすめていく。

【研究方法】

- ・令和4年度より3年計画で、研究実践をすすめていく。
(1年目：周知、認知 2年目：定着、活用 3年目：応用、発展)

【令和5年度の取り組み概要】

- ① ICT活用教材を教材教具展にて紹介（7月）
- ② 外部講師によるICT活用研修を2度実施（8月）
- ③ 文化情報部（本校教員）によるICT活用研修を3度実施
- ④ タブレット端末内の教材データをGoogle Workspaceへ移動
- ⑤ 教材データバンクへの入力と閲覧の方法を支援研究部だよりで紹介し説明会も実施（9月）
- ⑥ 実践学習会でICT活用に関する実践紹介を実施（11月）
- ⑦ 研究内容を学校ブログに掲載

【まとめ】

今年度は、昨年度に「周知、認知」されたICT活用が「定着、活用」することを狙いとして研究を進めてきた。専門的な知識や技術がなくても扱えるアプリや機能を具体的な活用場面とともに紹介することで、これまでICT活用について知ってはいるものの活用することに苦手意識のあった職員も「これならあの授業で使えるかも」と実際に活用するイメージをもって、まずは一つのアプリや機能から活用を進めている姿を目にすることが多くなった。

次年度はICT活用「応用、発展」の一年と位置付けている。引き続き研究をすすめることで、ICT活用の裾野が広がり、さらに実り多き一年となることを期待している。